

## 「新発田・村上地域2009大学等就職面接会」を開催します

ハローワーク新発田・村上では、平成21年大学等卒業予定者及び平成20年3月大学等卒業者を対象とした就職面接会を開催します。

地元企業の「就職情報」を得ることができるとの機会ですので、大学生等の皆さんは、ぜひ、ご参加ください。

◇開催日時 平成20年4月18日(金)  
13:30~16:00

◇会場 新発田市地域交流センター  
(新発田市中央町3-13-3)

◇参加企業 ハローワーク新発田・村上管内に就業場所を有する企業20社(予定)

### ◆お問い合わせ先◆

ハローワーク新発田 学卒係 (☎ 0254(27)6677)

### (社)新発田青年会議所

## 4月例会(公開例会)聴講者募集

### 記

日時 平成20年4月9日(木)  
18:30より講演会開始  
(18:00より受付開始)

場所 新発田市生涯学習センター 講堂  
講演名 まちづくり講演会  
「滋賀県長浜市  
まちづくりの挑戦と軌跡」  
～賑わいを勝ち取ったまちへ～

講師 株式会社 黒壁  
代表取締役常務 伊藤 光男 氏

参加費 無料

定員 300名

問合せ・参加申込先

社団法人新発田青年会議所 事務局

電話: 0254-22-0404

FAX: 0254-21-1522

電話受付時間 9:30~15:30  
(土・日、祝日はお休みです)

## 流行ものから 見えるもの

## 元気はつらつ 追っかけ 中高年

―子供返りか、それとも癒しか?

「若者に元気がない」といわれる昨今だが、逆に元気満々なのが中高年世代のようだ。その代表例が「追っかけ族」だろう。例えば、宝塚歌劇の公演やお目当てのスターを追いかけたり、韓流ドラマのロケ地に旅行したり、スポーツ界でもハンカチ王子やハニカミ王子に心ときめかせる奥さまたちが後を絶たない。

かたや男性も、好きな列車を追って撮影旅行に出かけたり、

ける鉄道ファンから、珍しい酒のボトルや希少なカメラ、LPレコード、記念切手、万年筆、昆虫などを求めて日本中(ときには世界中)を探し回る収集マニアまで。もしかして、読者各位の近くにおいでかもしれない。

そうしたブームは、『日本経済新聞』(〇八年二月十六日号)の「追っかけて幸せになる方法」という記事にも紹介された。見方によれば、

ば、これは単なるトレンドにとどまらず、今の冷え込んだ個人消費を増大させる突破口として、企業が追いかけてみる価値もあるだろうか。

もつとも同記事では、一連の現象を評して、「若者の追っかけは『移行』成長の過程」だが、年配者は『移行』子供返りだとか、「ストーカーや買物依存症、アルコール依存症と根っこは同じ」などと手厳しい意見が多かった。

しかし、考えてみればこの「追いかける」という行動は日本人が昔から好きだった分野かもしれない。かつての歌謡曲でも「♪追いかけて♪追いかけて♪」と歌う『恋のフーガ(ザ・ピーナッツ)』や、「♪追いかけて雪国」の『雪国(吉幾三)』などが大ヒットした。いや、それ以前に、明治以降の日本はひたすら先進国に「追いつけ、追い越せ」とがんばってきた歴史も持っている。そうした環境に育った層が、やっと

「安全に自己解放。癒(いや)しの効果も」

賛否の評価は分かれるとしても、〇八年の消費トレンドを占う一つのキーワードであることには、どうやら間違いなさそうだ。

確かに先の辛口な記事も、こんな見出しでフオローをしていた。

「安全に自己解放。癒(いや)しの効果も」

等身大の追っかけ対象に出会えた、ともいえそう

代表 野村 正樹

NML野村オフィス